



DENSAN
NETWORK COMPONENT

LNC-600

LANチェッカー

取扱説明書



はじめに

このたびは、「LANチェッカー / LNC-600」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください



警告

この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します

- 被測定線が活線状態、および負荷を接続した状態で本器を接続しないでください。
(電話配線の通電チェックを除く)
- 本器を無断で改造したり分解しないでください。
- 不適切なコネクタ、および不適切な圧着をしたコネクタは挿入しないでください。



注意

この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します

- 使用を開始する前に本器の外観構造に異常がないかを確認してください。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 本説明書に記載の用途以外には絶対に使用しないでください。
- 子供には手を触れさせないでください。



使用上のご注意

- 静電気が帯電したケーブルを接続すると本器が破損する場合がありますので放電させてから接続してください。
- 保管する場合は直射日光の当たらない所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は電池を外して保管してください。
- 強力な磁場や静電界、強いRF磁界のある環境では使用しないでください。
- 温度差の大きい場所から移動した場合はすぐに使用しないでください。
- 電池は付属していません。

特長

- 配線経路の探査ができる。(屋内配線・同軸線・LAN配線)
- 導通検査(電線・LAN)が可能
- 電話配線の通電チェックが可能
- アナログとデジタルの2方式により探査精度が向上
- 先端を明るく照らすLEDライト付(受信器)
- 配線探査の検知にバイブレーション機能付
- 電池交換お知らせ機能
- オートパワーオフ機能

用途

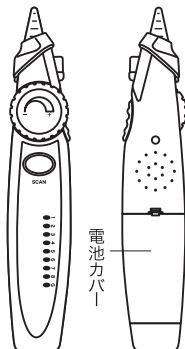
- 配線の探査(屋内配線・同軸線・LAN配線)
- 導通検査(電線・LAN)
- 電話配線の通電チェック

セット内容

●受信器

おもて

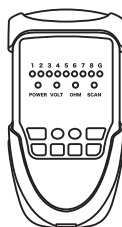
うら



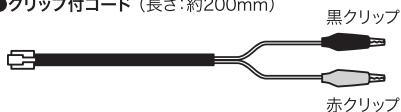
●送信器

おもて

うら



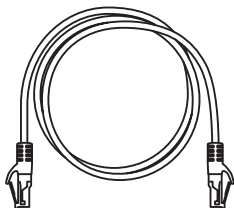
●クリップ付コード（長さ：約200mm）



●電話用コード（長さ：約200mm）



●RJ45パッチコード（長さ：約850mm）



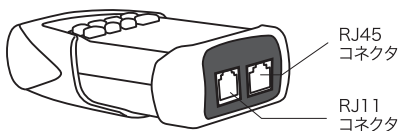
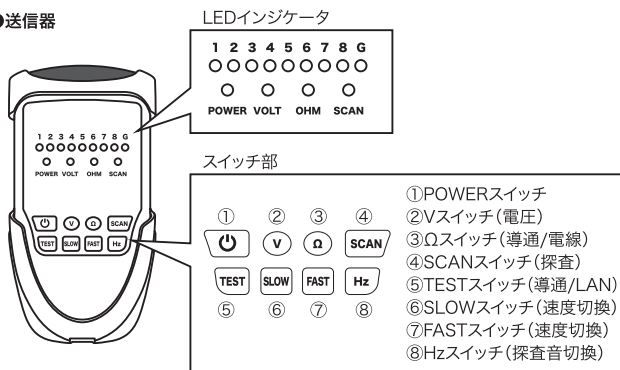
●収納ケース



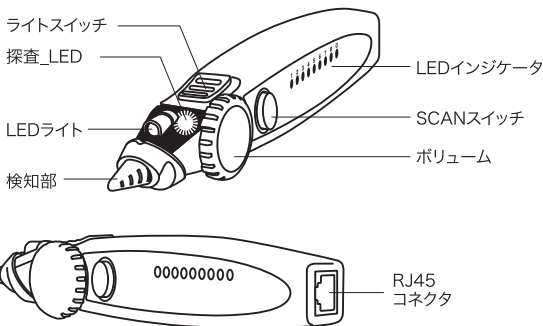
⚠ 注意 電池は付属していません。

各部名称

●送信器



●受信器



仕様

配線の探査	信号周波数	150kHz
	出力電圧	23Vp-p
	探査距離	1km
導通検査(電線)	検査電圧	13V
	導通状態表示	SCAN_LED点灯
導通検査(LAN)	検査周波数	SLOW 1.2Hz
		FAST 3.5Hz
	信号出力表示	緑LED点灯(送信器)
	信号入力表示	緑LED点灯(受信器)

オートパワーオフ機能	送信器	無操作約30分で自動的に電源オフ
	受信器	無操作約8分で自動的に電源オフ
電池交換お知らせ機能	送信器	動作中において、POWER_LEDが点滅
	受信器	動作中において、探査_LEDが点滅
使用電池	送信器	単3形乾電池×3(アルカリ電池推奨)
	受信器	乾電池 006P/9V×1(アルカリ電池推奨) (電池は付属していません。)
使用温度範囲	0℃～40℃(80%RH以下)	
サイズ	送信器	65×32×120mm
	受信器	35×187×29mm
質量	送信器	85g(電池含まない)
	受信器	67g(電池含まない)

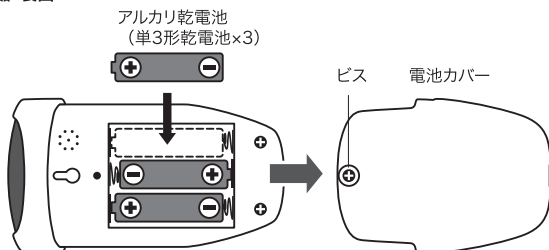
電池のセット

- 初めに電池カバーを外し、電池の＋を合わせてセットしてください。
ご使用にならない時は、電源をお切りください。
- 下記の場合は新しい電池と交換してください。
 - ・送信器：動作中において、「POWER_LED」が点滅する。
 - ・受信器：動作中において、「探索_LED」が点滅する。

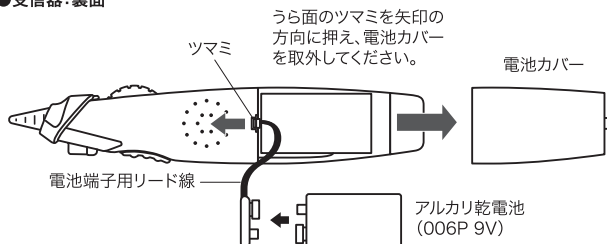
⚠ 注意

- 電池は付属していません。新しい電池をご用意ください。
- 使用電池：送信器：単3形乾電池×3個（アルカリ電池推奨）
受信器：乾電池 006P/9V×1個（アルカリ電池推奨）
- 電池交換を行うときは、電源を切り、各コネクタ（RJ11、RJ45）には、何も接続しないでください。

● 送信器：裏面



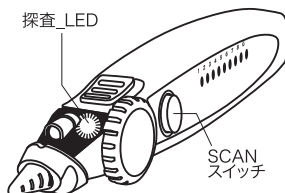
● 受信器：裏面



使用方法（探査方式の切換え）

1 探査方式の切換え

- 受信器の電源が入っている状態の時、「SCAN」スイッチを押す毎に、探査方式が変わります。（受信器の電源は、「SCAN」スイッチの2秒長押しでオン、オフできます。）



探査方式	探査_LED	検知時の動作
デジタル(音)	青点灯	ブザー鳴動
デジタル(振動)	青点滅	受信器振動
アナログ(音)	赤点灯	ブザー鳴動

- ノイズが多い場合は、デジタルに切換えてご使用ください。
- 受信器の検知時の動作（ブザー鳴動/受信器振動）は、お好みにより切換えてください。

使用方法（配線の探査）

2 配線の探査

⚠ 注意 活線状態では探査できません。

(1) 配線確認

- 配線がすべての機器から外れていることを確認してください。

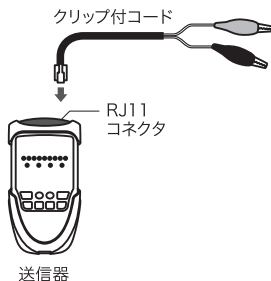
(2) 探査する配線の接続

電線 の場合

・送信器のRJ11コネクタに付属のクリップ付コードを接続し、探査する目的の配線の導体部をはさみます。

・2芯以上の電線の場合は、赤クリップと黒クリップで2芯の導体を、はさみます。

・単芯の場合は、赤クリップのみで電線の導体をはさみます。



2芯以上の場合、
赤黒共に接続



単芯の場合、赤のみ接続

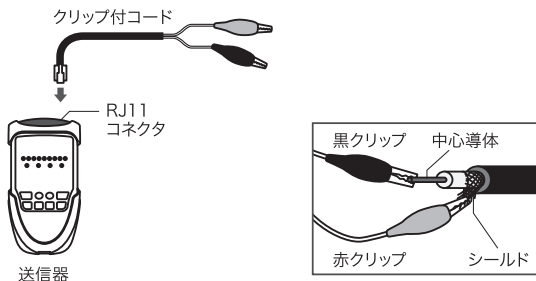


※接地された導体が、近くに
あれば、黒クリップで
はさんでください。

使用方法（配線の探索）つづき

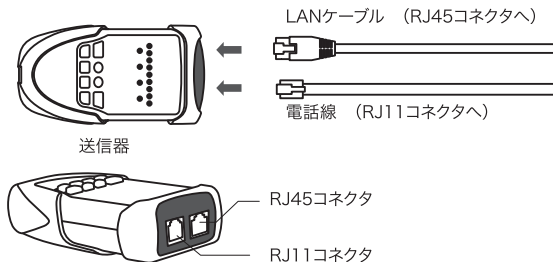
同軸線 の場合

- ・送信器のRJ11コネクタに付属のクリップ付コードを接続します。
- ・シールドを赤クリップではさみ、中心導体を黒クリップではさみます。



LAN配線 電話線 の場合

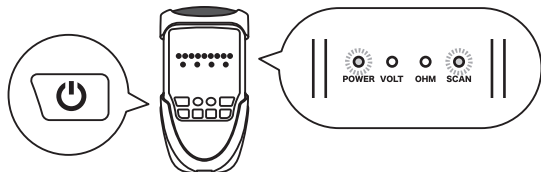
- ・LANケーブルは、送信器のRJ45コネクタに接続します。
- ・電話線は、送信器のRJ11コネクタに接続します。



使用方法（配線の探査）つづき

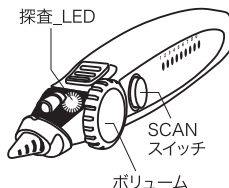
(3) 送信器の電源を入れる

- 送信器の「POWER」スイッチを2秒長押しして電源を入れます。
- 送信器の「POWER_LED」と「SCAN_LED」が点灯していることを確認してください。「SCAN_LED」が点灯していない場合は「SCAN」スイッチを押してください。



(4) 受信器の電源を入れる

- 受信器の「SCAN」スイッチを2秒長押しして電源を入れ、適当な感度になるようにボリュームを調節してください。
- 受信器の「SCAN」スイッチを押す毎に、探査方式を変えられます。
(使用方法 1. 探査方式の切換え 参照)



(5) 配線の探査

- 目的の配線を探査するために、受信器の検知部を順次各配線に近付けた時に、最も発音音が大きい電線が目的の配線です。
- 使用後は、送信器の「POWER」スイッチ、受信器の「SCAN」スイッチを2秒間押し、電源を切ってください。

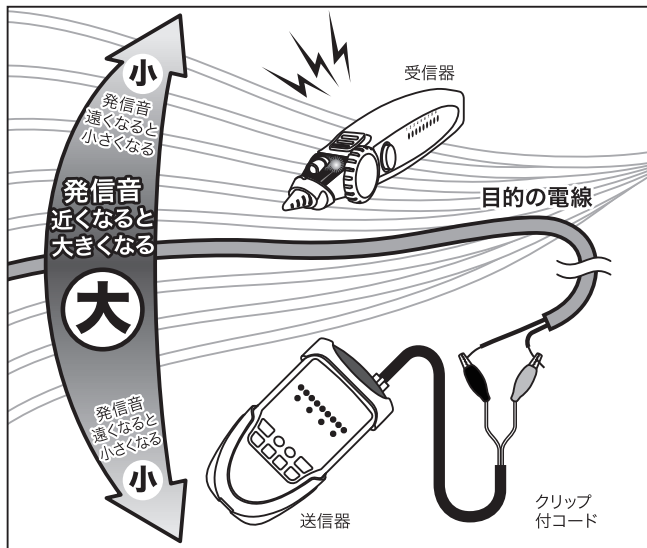


注意

アナログ信号で探査する場合、送信器の「Hz」スイッチを押すと信号音を変えることができます。
最適な信号に切換えてご使用ください。

使用方法（配線の探査）つづき

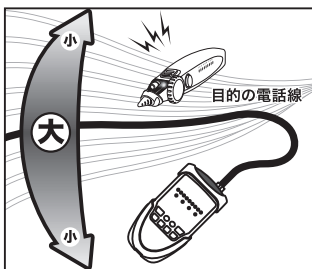
電線の配線探査イメージ



同軸線の配線探査イメージ



LAN 配線、電話線の配線探査イメージ

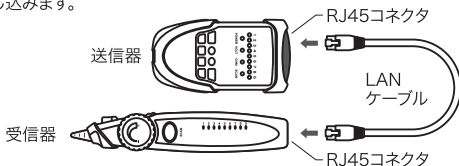


使用方法（導通検査 / LANケーブル）

3 導通検査 / LANケーブル

(1) LANケーブルの接続

- 送信器と受信器のRJ45コネクタに、LANケーブルのモジュラープラグをそれぞれ差し込みます。



(2) 送信器の電源を入れる

- 送信器の「POWER」スイッチを2秒長押しして電源を入れます。
(受信器の電源は入れません。)

(3) 導通検査

- 送信器の「TEST」スイッチを押します。
「POWER_LED」の点灯を確認します。
「OHM_LED」の点灯を確認します。
「SCAN_LED」の点滅を確認します。



受信器LED
インジケータ

1 2 3 4 5 6 7 8 G
0 0 0 0 0 0 0 0 0

シールドケーブルでない場合は、LEDのGは点灯しません。

状態	判定
送信器のLEDと受信器のLEDが、1からGまで順次点滅	正常
送信器のLEDと受信器のLEDの点灯する順番が異なる (クロス配線、配線順序間違い等)	配線ミス
受信器のLEDが複数点灯 (そのLEDの番号に対応するケーブルに障害がある。)	ショート

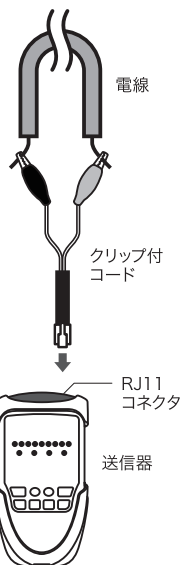
- 順次点滅するLEDのスピードを遅くしたい場合は、「SLOW」スイッチを、速くしたい場合は「FAST」スイッチを押してください。

使用方法（導通検査 / 電線）

4 導通検査 / 電線 ※受信器は使用しません。

(1) 電線の接続

- 送信器のRJ11コネクタに付属のクリップ付コードを接続します。
- 電線両端の導体部分を赤クリップと黒クリップでそれぞれはさみます。



(2) 送信器の電源を入れる

- 送信器の「POWER」スイッチを2秒長押しして電源を入れます。

(3) 導通検査

- 送信器の「Ω」スイッチを押してください。「POWER_LED」と「OHM_LED」が点灯し、電線が導通している場合は、「SCAN_LED」が点灯します。

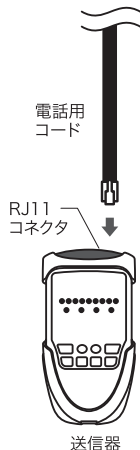


使用方法（電話配線の通電チェック）

5 電話配線の通電チェック ※活線状態で行います。

(1) 電話用コードの接続

- 送信器のRJ11コネクタに電話用コードを接続します。

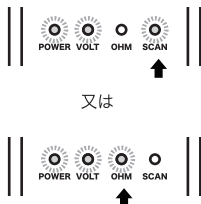


(2) 送信器の電源を入れる

- 送信器の「POWER」スイッチを2秒長押しして電源を入れます。

(3) 通電チェック

- 送信器の「V」スイッチを押してください。
「POWER_LED」と「VOLT_LED」が点灯し、電源が供給されている場合は、「SCAN_LED」もしくは「OHM_LED」が点灯します。



故障かな？ と思ったら

故障かな？と思ったら、お問い合わせや修理を依頼される前に以下の点をご確認ください。

- 電池の接触不良はありませんか？
- 電池の極性(＋、－)は正しいですか？
- 電池が消耗していませんか？
(送信器:「POWER_LED」が点滅、 受信器:「探査_LED」が点滅)
- 製品本体に損傷がありませんか？
- 製品本体、または被測定物の置かれている環境に強いノイズがありませんか？
- 操作手順が取扱説明書の使用方法通りですか？

以上の点を確認しても正常に作動できない場合、販売店にご連絡ください。

保証について

保証期間:購入日より1年間(ただし保証期間内でも次の場合は保証できません)

- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変。
- 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用上の誤り、保管方法が原因で生じた故障、異常電圧による故障。
- 分解・改造での破損。
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
- その他当社の責任とみなされない故障。
- お買い上げ年月日の証明できる伝票等のない場合。

※上記に該当する場合は有償修理となります。

ジェフコム株式会社

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

ML1AHC